

【安心・安全なまちづくり委員会】

「帰ってきたくなるような福山市」について



このテーマ（帰ってきたくなるような福山市）に決めた理由は、「安心・安全なまちづくり」について話し合う中で、幅広い世代が安心・安全に暮らせる福山市になれば、「ずっと福山市に住みたい」、またはもし市外に出ても、「また戻って来たい」と思ってもらえるのではないかと考えたからです。

子どもたちの安全は、お母さんやお父さんなどの周りの大人たちの安心にも繋がることから、子どもたちが安心・安全に暮らせるために、どんなことが必要か考えました。

子ども達が安心・安全に登下校・遊んだりするための取組の提案

- ① 夕方夜間の見守りパトロールについて
- ② 中心地以外の防犯カメラの増設について

【安心・安全なまちづくり委員会】 質問・提案の資料



市長からの答弁

①について、各地域で、町内会の方々や学校の保護者など、様々な人により登下校時や夕方、夜間に防犯パトロールが行われています。本市においても、小学校区ごとに「生活安全モデル地域」を指定し、地域の住民の方に防犯活動の大切さをお伝えするとともに、防犯パトロールなどの体制の充実をお願いしています。ご提案いただいた、習い事に行く時間（16時～18時）の見守り・パトロールについては、地域のボランティアの皆さんと協力しながら、出来るだけそうした時間帯にも実施出来るよう努めていきたいと思えます。

②について、防犯カメラの設置は警察や町内会の方と相談し、どこに設置するかを決めています。今後の防犯カメラ設置の際には、警察や町内会の方々に、公園や通学路への防犯カメラ設置についても、しっかり相談をしていきたいと思えます。

犯罪に巻き込まれないためには、「自分の安全は自分で守る」という意識がとても大切です。安全・安心アプリの活用など、自分の身を守る行動をとっていただきたいと思います。そして皆さんが大人になったら地域の子どもや高齢者の方の見守り活動を積極的にしていただきたいと思います。

これからも安心安全のための取組について一緒に考えていきましょう。